

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月15日 (1回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	兵庫県南あわじ市 28224
地域名 (地域内農業集落名)	中条徳原 (中条徳原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	23.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	22.7 ha
② 田の面積	22.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	6.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	3.4 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は水稻と露地野菜栽培の経営が中心であるが、畜産農家もいることから耕畜連携も行われている。兼業農家が多い中で精力的な農家も少なくない。耕作放棄田も現状は少ないが農家の高齢化による耕作放棄田の増加が懸念されている。また、中山間地域であることから農地の維持管理に加えて獣害対策や法面の管理にも労働時間を取られる。

農業者:26人(うち、50 歳未満2人)、他地区から入作11人(うち、50 歳未満1人)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地域においては水稻とたまねぎ・白菜・レタス・非結球レタス・キャベツ・ブロッコリーの露地野菜作付けが中心となっており、裏作の作付けによる地力の低下を防ぐため、耕畜連携による稲わらの供給やWCS用稲を作付けして飼料作物と堆肥との交換による土づくりを行い化学肥料の削減につなげている。水稻については高齢化やコンバインなどが故障した農家から畜産農家にWCS用稲の作業委託を進めていく。WCS 用稲の生産面積が増加してくると畜産農家のみでは作業効率が悪くなるため、夏場の労働時間が比較的余裕のある耕種農家の有志で地域内の作業受託を請け負えるコントラクターの結成を進めていく。

露地野菜のたまねぎについては高齢化が進むについて労働力を補完しなければ現状の面積を維持できなくなっており、機械化や農業支援サービス事業者等への農作業委託などを取り入れていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

地域内の担い手にも規模拡大を考えている農家がいることから、離農や規模縮小する農家に対して、まずは地域内の担い手に貸付けを優先的に行うよう周知を図る。担い手が病気等で耕作継続ができなくなった場合は、予め定めた担当エリアの担い手が可能な範囲で借受ける。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	18.2 %	将来の目標とする集積率	17.7 %
--------	--------	-------------	--------

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

借受ける農地は極力、現在耕作している農地と隣接している農地の耕作者が借受けながら団地面積を拡大していく。一方で、露地野菜がメインの当地域では団地面積の大きさが効率的な農業に繋がるわけでもないことから、引き続き、田主単位での集団化を進めていく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

地域計画の見直しを毎年行う上で、農地を手放す農家がいる場合は、隣接する耕作者や規模拡大を行う耕作者に農地中間管理機構を通じて貸付けを行い、集団化を進めていく旨、周知していく。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

利用権設定されている農地は期間満了後に農地中間管理機構に付け替える。また、地域計画策定後は新規で農地の貸し借りを行う場合については、農地中間管理機構を活用することとする。

(3) 基盤整備事業への取組

地域内では一部で基盤整備済であるが大半は出来ておらず、農地の貸し借りを円滑に行うには耕作条件が整っていないければ困難である。そのようなことから地区内で話し合いを行い負担金ゼロの基盤整備について前向きに進めていきたい。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

当地域では昔から兼業農家が多く、今後も地域の農地については、地域で守っていくことを基本とするため、兼業農家において円滑な経営継承ができるよう地域一体となって取組む。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

たまねぎ・白菜等重量野菜の収穫等の農作業委託支援を今後も継続していく。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、被害発生地域への侵入防止柵の設置を行っていく。

②⑨ 耕畜連携を地区内で推進し、畜産農家から生産される堆肥を活用し減肥栽培の取組みを進める。

③ スマート農業に取り組みたいと考えているため、事前にスマート農業関係の調査を始める。

⑦ 中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、傾斜の厳しい農地や法面などを保全・管理していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1のとおり								
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者		水稲	1.02 ha	ha	水稲	1.02 ha	ha	1	
2	利用者		自己保全	0.76 ha	ha	自己保全	0.76 ha	ha	2	
3	利用者		水稲、露地野菜	0.84 ha	ha	水稲、露地野菜	0.84 ha	ha	3	
4	利用者		自己保全	0.04 ha	ha	自己保全	0.04 ha	ha	4	
5	利用者		自己保全	0.20 ha	ha	自己保全	0.20 ha	ha	5	
6	利用者		水稲、露地野菜	1.08 ha	ha	水稲、露地野菜	1.14 ha	ha	6	
7	利用者		水稲	0.74 ha	ha	水稲	0.99 ha	ha	7	
8	認農		水稲、露地野菜	0.54 ha	ha	水稲、露地野菜	0.54 ha	ha	8	
9	利用者		自己保全	0.04 ha	ha	自己保全	0.04 ha	ha	10	
10	利用者		水稲、露地野菜	0.13 ha	ha	水稲、露地野菜	0.24 ha	ha	11	
11	利用者		水稲、露地野菜	0.58 ha	ha	水稲、露地野菜	0.58 ha	ha	12	
12	利用者		自己保全	1.08 ha	ha	自己保全	1.08 ha	ha	13	
13	利用者		水稲、肉牛育成	0.57 ha	ha	水稲、肉牛育成	0.47 ha	ha	14	
14	利用者		水稲、露地野菜	0.61 ha	ha	水稲、露地野菜	0.77 ha	ha	15	
15	利用者		水稲、露地野菜	1.04 ha	ha	水稲、露地野菜	1.04 ha	ha	16	
16	利用者		水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.83 ha	ha	水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.85 ha	ha	17	
17	利用者		水稲	1.08 ha	ha	水稲	1.08 ha	ha	18	
18	利用者		自己保全	0.78 ha	ha	自己保全	0.80 ha	ha	19	
19	利用者		水稲	0.37 ha	ha	水稲	0.37 ha	ha	20	
20	利用者		水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	21	
21	利用者		水稲	0.57 ha	ha	水稲	0.57 ha	ha	22	
22	利用者		水稲、露地野菜	1.49 ha	ha	水稲、露地野菜	1.49 ha	ha	23	
23	認農		水稲、露地野菜、酪農	1.00 ha	ha	水稲、露地野菜	1.01 ha	ha	24	
24	利用者		水稲、露地野菜	1.72 ha	ha	水稲、露地野菜	1.72 ha	ha	25	
25	利用者		自己保全	0.25 ha	ha	自己保全	0.28 ha	ha	26	
26	利用者		水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.98 ha	ha	水稲、露地野菜、紫陽和牛	1.01 ha	ha	27	
27	利用者		水稲、露地野菜	0.41 ha	ha	水稲、露地野菜	0.41 ha	ha	28	
28	利用者		水稲、露地野菜	0.21 ha	ha	水稲、露地野菜	0.21 ha	ha	29	
29	認農		水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.92 ha	ha	水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.97 ha	ha	30	
30	認農		水稲、露地野菜	0.93 ha	ha	水稲、露地野菜	0.93 ha	ha	31	
31	利用者		水稲、露地野菜	0.15 ha	ha	水稲、露地野菜	0.15 ha	ha	32	
32	認農		水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.35 ha	ha	水稲、露地野菜、紫陽和牛	0.35 ha	ha	33	
33	認農		水稲、露地野菜	0.32 ha	ha	水稲、露地野菜	0.32 ha	ha	34	
34	利用者		水稲	0.11 ha	ha	水稲	0.11 ha	ha	35	
35	利用者		水稲、露地野菜	0.14 ha	ha	水稲、露地野菜	0.14 ha	ha	36	
36	利用者		水稲	0.35 ha	ha	水稲	0.35 ha	ha	37	
37	利用者		水稲	0.13 ha	ha	水稲	0.13 ha	ha	38	
	計			22.66 ha	0 ha		23.30 ha	0 ha		